

臨床医学委員会内分泌・代謝分科会の設置について

分科会等名： 臨床医学委員会 内分泌・代謝分科会

1	所 属 委 員 会 名 (複 数 の 場 合 は、主体となる 委員会に○印を 付ける。)	臨床医学委員会
2	委 員 の 構 成	20名以内の会員又は連携会員
3	設 置 目 的	医学において内分泌代謝学は生態制御の根幹をなす領域であり、その障害は糖尿病をはじめ多数の重要な内分泌疾患、代謝疾患として重篤な結果をもたらすためその成因の解明および治療対策の開発は必須の課題である。近年この分野の進歩は急速で、従来の古典的な内分泌代謝器官に止まらず全身の各細胞における分泌、代謝機能の解析が必要となっている。また高齢化社会の中で新しい病体を呈する内分泌代謝疾患が増加するとともに、遺伝要因を介した内因性の内分泌代謝機能異常に加え、生活習慣、特に栄養の因子を加えた疾患解析の重要性が増している。進化した内分泌代謝学を推進するために本分科会で適切な提言を行う必要がある。
4	審 議 事 項	(1) 高齢化社会における新しい内分泌代謝学の推進についての検討 (2) 内分泌代謝疾患に関するデータベースの構築などについての検討
5	設 置 期 間	年 月 日～ 年 月 日 / 常設
6	備 考	